

## 平成22年度 第1回 (4月) 理事会議事録

- 日 時 平成22年4月8日(木) 午後6時30分～7時50分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、  
荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、  
栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、  
事務(仲野)
- 欠席者 山中監事
- 議 長 今井

### 【討議内容】

#### I. 行動報告 (3月分)

- 3月2日 近臨技公益法人対策会議  
運天、荒木
- 4日 大阪府精度管理委員会  
運天、井戸田、田畑、酒井
- 6日 学術部講演会  
山西
- 9日 日本医療学院専門学校卒業式  
今井
- 11日 理事会  
今井、運天、竹浦、吉本、清水、荒木、  
田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、大  
垣、栗本、山西、小宮山、東野
- 12日 近畿実践セミナー2010奈良会議  
小宮山
- 13日 近畿医療技術専門学校卒業式  
今井
- 14日 伯井俊明次期大阪府医師会長当選祝賀会  
今井
- 16日 渉外部会  
清水
- 17日 大阪医療技術学園専門学校卒業式  
今井
- 17日 総務・会計部会  
運天、吉本、山田
- 18日 情報組織部会議  
井戸田、酒井、小宮山、山西
- 20日 施設連絡者会議  
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、  
清水、荒木、田畑、井戸田、高橋、  
出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、  
小宮山、東野、村上
- 20日 平成21年度第2回定期総会  
(平成22年度予算総会)  
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、  
清水、荒木、田畑、井戸田、高橋、  
出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、  
小宮山、東野、村上
- 20日 中部地区一般検査研修会 (三重大学)  
山西
- 21日 中部地区一般検査研修会 (三重大学)  
山西
- 23日 学術部会  
高田、宮野
- 24日 常務理事会・公益法人移行委員会  
今井、運天、竹浦、吉本、荒木
- 25日 看護の日～ハートフル大阪21  
～実行委員会  
今井
- 26日 医療関連実地調査  
荒木
- 26日 教育機関懇談会  
今井、運天、竹浦、吉本、高田、田畑、  
山田
- 27日 日臨技平成21年度第2回定期総会  
今井

31日 中央支部会

田畑

31日 大阪医療技術専門学校校章授与式

今井

#### II. 経過報告

##### 1. 日臨技

- 平成22年3月27日に平成21年度第2回定期総会が開催された。
- ①第1号議案 平成22年度事業計画案は可決された。
- ②第2号議案 平成22年度予算案は可決された。
- ③第3号議案 都道府県臨床検査技師会提出議案はなかった。
- ④第4号議案 平成22・23年度選挙管理委員及び役員推薦委員が選任・承認された。大臨技より運天副会長が役員推薦委員に選任された。
- ⑤第5号議案 次期定期総会は、平成22年5月21日に神戸市で、平成23年3月は東京で開催される。
- ⑥第6号議案 第61回日本医学検査学会は、三重県臨床検査技師会担当で、平成24年5月19・20日に名古屋で開催される。
- ⑦第7号議案 平成22・23年度役員が選任・承認された。
- ⑧日臨技近畿支部担当理事として森嶋氏(大阪)が選任され、ほか日臨技理事として、佐野氏(大阪)玉置氏(和歌山)・田中氏(和歌山)湯浅氏(京都)が選任された。

##### 2. 近臨技

- 3月2日に公益法人対策会議が開催された(3月理事会で報告済み)。
- 3月13日に第20回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会が神戸で開催された。

##### 3. 公益法人移行委員会(運天副会長)

- 3月24日に委員会が開催された。
- 日臨技の公益法人移行に関するコンサルティング結果の報告があった。  
事業区分の仕分け、区分ごとの収支相償等に改善事項はあるが、公益事業比率は81.39%適合と50%以上を十分クリアしている。公益目的事業が定款に沿ったものであれば公益であるという結論に達した。大臨技も日臨技同様、公益目的事業が定款に沿ったものであれば問題はないとした。
- 公益法人移行日程については、申請手続きとして、まず定款変更案を大阪府に提出し、その後申請となる。現在、大阪府の窓口である地域保健感染症課感染症グループに定款変更案を提出している。その後、法務課に上げられるが、非常に混雑しているため相当遅れる見込みである。
- 大阪府からの中間報告として、事業内容のチェックポイントについて見直しが指摘され、再度検討し提出をする。
- 以上の理由により5月の定期総会に間に合わない場合、定期総会「第3号議案 公益社団法人移行に関する件」は報告のみとなる予定である。

##### 4. 事務局

- (総務部)
- 3月17日に部会を開催した。
- 大臨技総会について検討した。
- 大臨技ホームページの体制について検討した。
- 賛助会員への対応について検討した。
- 平成22年度総務・会計部の事業について検討した。
- 大臨技ニュース3月号を発行した。
- 大臨技ホームページを更新した。

#### 〈会計部〉

3月17日に部会を開催した。

- 2月度収支計算書を作成した。

- 日臨技へ2月分会費の送金を行った。

#### 〈渉外部〉

3月16日に部会を開催した。

- 第32回献血推進活動の反省及び次回活動について検討を行った。(次回は8月7日に開催)

- 日臨技公益委託事業の反省を行った。

- 子宮がん健診の推進活動について説明を行った。

- 4月10日難波グリーンガーデンにて、献血推進活動と、細胞検査士会との共催事業である子宮頸がん検診啓発活動を行う。

①のぼりとTシャツ着用による大臨技のアピールを行う。

②チラシ3,000部とハーブの種袋200個の配布を行う。

③血液センターから提供のティッシュ3,000個の配布を行う。

④献血車横にテントの設営により、子宮がん健診ポスターで府民に啓発を行う。

⑤今回より、アボット(株)ともジョイントで事業を行っていく。

- 来年度事業について検討した。

### 5.事業局

#### 〈情報組織部〉

3月18日に部会を開催した。

- 第26回技師長会の反省を行った。

- 財務管理研修会として、日臨技総合管理部門研修会を10月23日か24日に開催を予定している。

- 新入会員研修会(7月3日)の打ち合わせを行った。

#### 〈地区事業部〉

3月18日に部会を開催した。

- 施設連絡者会(3月20日、大阪産業創造館)の最終確認を行った。参加者は59名であった。

- 「マタニティカーニバル2010」(7月3・4日大阪南港ATCホール)に関して話し合った。

- 大臨技が担当する体験コーナーのボランティア募集を行う。体験コーナーの項目、予約方法等を検討した。

#### 〈学術部〉

3月23日に部会を開催した。

- 第2回学術部講演会(3月6日)の反省会を行った。

参加者は111名であった。

- 緊急検査部会に関して議論した。

### Ⅲ.他、報告

#### 1.教育機関懇談会(竹浦副会長)

- 3月26日に大臨技事務所にて開催された。

「第6回大臨技教育セミナー プログラム案」

平成22年7月17日(土) 14:00~17:00

関西医科大学附属滝井病院 6階講堂

- ① I部 ワークショップとして、教育機関の推薦者による「先輩が抱負を語る」

- ② II部 教育講演は検討中である。

#### 2.大臨技の役員推薦委員・選挙管理委員の変更

##### (運天副会長)

- 選挙管理委員として、前任の田中氏の後任として北中氏が選任された。役員推薦委員は、朝山氏、東野氏、村上氏、小林(喜志郎)氏が選任された。

#### 3.看護の日(今井会長)

- 平成22年5月15日(土)大阪府看護協会 桃谷センター 9:30~16:00

- 大臨技としては、「生活習慣病予防コーナー」で、頸部エコー・血糖・尿糖検査の協力を行う。

- 今年度は、昨年の反省を踏まえ、大臨技のアピールとして、旗や看板の掲示を考えている。

- 大臨技の協力金は50,000円とし、協力員交通費は2,000円とする。

- 今回も大阪府・大阪市の協力金はない。

#### 4.日臨技共催公益目的事業・日臨技公益委託事業について(運天副会長)

- 日臨技共催公益目的事業については、昨年度、共催事業であったマタニティカーニバル、献血推進活動、手話講演会は、今年度は、共催を中止することとなった。

- 日臨技公益委託事業については、乳がん撲滅活動、HIV啓発活動は継続して行うが、生活習慣病予防啓発事業は行わないこととなった。

#### 5.その他

- 今井会長より、平成22・23年度の大臨技役員を担当部門体制(兼任含め)の説明があった。

- 平成22・23年度近臨技の理事として、今井会長、運天副会長、竹浦副会長、荒木理事、高田理事が選任された。

- 前理事会で後援が承認された「呼吸の日記念フォーラム2010」(平成22年5月9日開催)よりスパイロメータを使った肺年齢測定のパランティア派遣の要請が届いた。

日本超音波検査学会が同日、同場所で開催ということもあり、なるべく協力するというので、後日、高田理事より担当者に回答を行う。

- 日本輸血・細胞治療学会開催の輸血検査技師育成事業の指導者講習会の受講者として、学術部より阿部操氏が選任された。

- 前監事の村上氏が「第29回福見秀雄賞」を受賞されることとなった。

- 公益信託臨床検査医学研究振興基金より研究奨励金授与候補者募集があった。

- みんなの健康展の実行委員2名選出は、田畑理事に一任する。

- 日臨技生涯教育登録は、4月15日の締め切りまでに完了すること。

- 平成22・23年度大臨技役員名簿及び新役員挨拶状のチェックを行った。

### Ⅳ.議題

#### 1.緊急検査部部会の立ち上げについて(竹浦副会長)

- 学術部会で検討した。(高田学術部長)

①救急救命に特化したものになる可能性が危惧される。

②学術部門の大部分と合い重なる部分があるので、あえて作ることはないのでは。

③学術部として捉えるのではなく、チーム医療のなかでの救命医療などとして捉えては。

- 救急救命的な専門的知識ではなく、会員が持つべき基礎知識を習得するための緊急検査部会である。今年度は、地区事業部の自由集会にも組み入れる予定であり、学術部・情報組織部の協力体制のもと、今年度1

- 年間の活動の様子をみる。来年度に向け方向性を検討して行く。

#### 2.平成22年度第1回定期総会

(平成21年度決算総会)(吉本常務理事)

タイムスケジュール案に従い、説明があった。

- 平成22年5月27日(木) 19:00~20:30

大阪産業創造館6階会議室E

- 受付は、総務部より、岡本氏、伊東氏が担当する。

- 第1議長は学術部より山内氏、第2議長は地区情報部より片山氏が選出された。

- 第3号議案の「公益社団法人移行に関する件」は、報告のみとなる。

- 総会終了後、新旧役員交流会を開催する。

#### 3.その他

- 渉外部で9月開催予定の「乳がん撲滅活動」について、細胞検査士会とアボット(株)とのジョイントでの事業が承認された。

- 生殖医療部会については、今年度は情報組織部のチーム医療に含めるものとする。
- 出野理事により、第59回日本医学検査学会で、「大臨技内視鏡部会の立ち上げと現況」の報告を行う。大臨技ニュース6月号にも掲載する。
- 大臨技ニュース6月号に新役員の挨拶文を掲載する。新役員アドレスを役員メールに追加する。